

自作教具の活用事例

【作品名】 自分をはげます リフレーミングカード	【学校名】 日立市立田尻小学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動	【制作者名】 小室 比左子
【制作の意図】 本教室に通級する児童は、成功体験が少なく自己肯定感が低い児童が多い。そこで、リフレーミングを通し、物事を多様な見方で捉える自立活動をし、短所を長所と捉えるポジティブな言い換えをして自己受容・自己理解を図った。自分を励ますリフレーミングカードを作成することで、児童が通級した時に見返し、自己肯定感を高める目的で本教材を作成した。	【使用の方法】 カードは通級教室に常時掲示をすることで、物事に対する多様な見方・捉え方の意識化を図る。また、通級教室に来室したときに、カードに書いてある言葉を見返すことで、自己受容を図る。自分以外のカードの言葉を見ることで、リフレーミングされるたくさんの言葉を知り、他者受容・他者理解を促す。
【制作上の工夫】 カードの表に自己認識している短所、裏にリフレーミングした長所の言葉が書いてある。カードをラミネートして児童が簡単に表から裏へとカードを裏返して見ることができるようにした。また、季節のモチーフと一体化して掲示することで、児童の興味を引けるようにした。	【見取り図】 カード（表） （例） うるさいなあ 絵 カード（裏） （例） 元気があって おもしろいね 絵  ・カードの字は児童、絵は個の実態に応じて児童が作成したり、教師と分担したりして描いた。
【写真】 	【使用効果と応用発展】 ○自立活動での体験を思い出し、自己受容、自己理解を図ることができる。 ○自分以外にも悩みを抱える友達がいることに気付き、他者受容、他者理解を促すことができる。 ○物事を違う枠組みで捉え直すことで、見方や感じ方が変わってくることや、多様な見方や感じ方を意識することができるようになる。
【材料・材質・部品等】 ・色画用紙 ・ラミネートフィルム ・モール ・シール	